

徳永二男 指揮公開レッスン

2019年12月17日

本学の「指揮合同レッスン」に、日本を代表するヴァイオリニストの徳永二男氏をお招きして公開レッスンが行われました。先生のアドバイスは指揮の学生はもちろん、オーケストラやソリストの演奏にもおよび、学生たちの演奏は次第に生き生きとしたものに変化しました。“音楽はまず心が大切”という先生の言葉は、学生たちの心に強くきざまれたと思います。気がつけばあっという間の3時間が経過。先生の思いを一身に受け止める学生たちと心の通い合ったあたたかく、かつ密度の濃いレッスンでした。



曲目

ブラームス ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲



先生の感想

徳永二男氏

今日はほんとうに短い時間でしたが、教える方も勉強になりました。こういう場合はだめ、こんなことを伝えたらこう変化する、オーケストラにアドバイスするとこう変わる、指揮者に言うとかう変化するというふうに。指揮者がいてオーケストラがいてソリストがいる。そんな条件の中、この短時間で変化していく東京音楽大学の学生のみなさんの理解力はすごいなと思いました。アドバイスしがいのある3時間でした。

広上淳一教授

金言だらけのすばらしいレッスンをしていただいたことに、大変感謝しております。すごいなと感じるのは、ぱっと聴いただけで、学生の欠点を見抜いてしまうところですね。それを優しく包み込んで、大切なことを惜しみなく教えてください。先生の言葉は本質を突いている、まさにそのとおりのことばかり。そんなご指導を学生たちにしていただけただけがなによりうれしかったです。

レッスンを受講した学生の感想

栗原翼さん（大学4年・指揮）

今日のためにたくさん勉強して来ました。徳永先生がアドバイスをしてくださって、それをオーケストラと共有できたときにものすごくいい音がして、自分が変わればオーケストラも変わることを感じました。先生がおっしゃったことが、指揮をするなかでもほんとうに大事なことだと肌で感じました。人生でターニングポイントになるレッスンになったと思います。

石崎匠馬さん（大学4年・指揮）

いつもよりはすこしリラックスして、リラックスしたなかでもフォルテや強弱を意識して指揮できたらと思って今日はやってみました。レッスンを受講して、あらためて呼吸の大切さを感じました。次のフレーズに入るための流れを、自分が指揮する前に意識できたらいいなと思いました。緊張しましたが、とても勉強になりました。

Anna Litvinova さん（大学 3 年・指揮）

今日は本当にすばらしい体験でした。マスタークラスはコンクールではないのでいいところを見せるのはあまり意味がないと思って、今日はいまいかなかったのですが、あえて難しい楽章にチャレンジしてみました。自分のなかでまだブラームスのシンフォニーへの理解が足りていないので、もっと勉強したいです。学びたくて日本に来ました。これからも日本で勉強を続けたいです。

岡本陸さん（大学 3 年・指揮）

なによりも緊張しました。まず、音楽は心が大切なのだとあらためて感じましたし、いつもはどうしても技術のことを考えてしまうんですが、これからは自分が音楽をどう感じるかを一番大切にしていきたいと思いました。今日のレッスンでの学びを糧に、これからも成長できればと思います。

菅千賀子さん（大学 2 年・ヴァイオリン コンサートミストレス）

普段はオーケストラにいてもコンサートミストレスをする経験はなかなかありませんので、今日のレッスンで指揮者から受け取ったものを自分だけがやっても意味がなくて、オーケストラ全体と共有しなければならないということがわかりました。指揮者の指示をオーケストラに伝える方法を先生に教えていただき、とても勉強になりました。

